

# べっぴ 市議会だより

No.65 平成16年2月1日

編集 市議会だより編集委員会

発行 別府市議会

住所 〒874-8511  
別府市上野口町1-15

☎0977-21-1111

メール sec-cc@city.beppu.oita.jp



別府市役所レセプションホールでの記念撮影

## 第1回『べっぴ子ども市議会』を開催

平成15年12月25日（木）、別府市議会本会議場において、自分達の住んでいる別府の諸問題、未来について、自ら課題を見つけ自ら考え、模擬市議会を体験することにより、市議会の重要性和故郷べっぴを愛することの大切さを学ぶため、各小学校の代表者32人が参加して第1回「べっぴ子ども市議会」が開かれました。

はじめに議長・副議長が選出され、続いて16人の子ども議員が教育・観光・福祉・環境・建設などに関する一般質問をし、12人が提言を発表し、最後に「子ども宣言」を採択して閉会いたしました。

### 主な内容

主な議決…P2～3

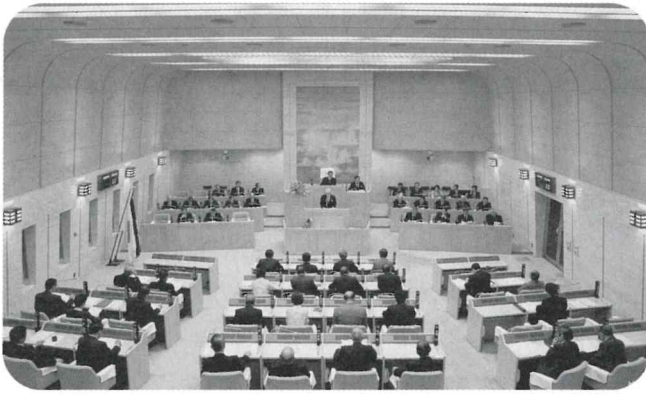
議案質疑…P4

一般質問…P5～10

特 集…P11～12

# 主な議決

十二月定例会は初日に決算特別委員長より継続審査中の平成十四年度一般会計・各特別会計の決算の認定について審査報告がなされ、討論、採決の結果認定されました。この後、予算や条例案件などの議案十一件が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任・特別委員会へ付託されました。これらの議案は最終日に、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、一件が修正可決となった他はすべて原案のとおり可決、承認されました。



12月 定例議会風景

## 継続審査

◎平成十四年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について  
(認定)

決算特別委員会は閉会中の十月三十日、三十一日の二日間にわたり決算審査を行いました。

本年四月に船出した浜田新体制のもと、焦眉の急である「緊急財政再生宣言」に関連し、現在のわが国の国政、地方行政を通じての最重要課題の一つである「行財政改革」について、その真髄は、行政に従事する職員個々の能力の向上と、その能力をフルに発揮させる行政運営の効率化であり、それに加えて、不要不急

な事業を取りやめ、真に必要な事業は果敢に創設する、いわゆる「スクラップ・アンド・ビルド」であると考えすべきである。との総括意見が述べられたが、採決の結果、賛成者多数をもって原案のとおり認定されました。

## 補正予算

◎平成十五年度一般会計及び各特別会計補正予算  
(原案可決)

今回の主な内容について、総務費では、平成十六年に市制施行八十周年記念式典を開催するための経費を計上している。

民生費では、保育所の定員の拡大等により、入所児童数が増加したことに伴う保育園運営費負担金等の追加額を計上している。

衛生費では、医師会等の協力を得て、夜間、休日の小児救急医療の体制を拡充するための経費を計上している。また、缶、びん、ペットボトルのリサイクルをより一層推進するため、回収専用指定袋の購入費を計上している。

商工費では、依然として厳しい経済情勢下にある中小企業に対し、安定した資金の供給が図られるよう、中小企業経営合理化資金の融資に係

## 十二月定例会 会期の経過

|     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 三日  | 議会運営委員会                       |
| 五日  | 本会議（委員長報告、討論、表決、議案上程、提案理由の説明） |
| 八日  | 本会議（議案質疑、委員付託）                |
| 九日  | 本会議（一般質問）                     |
| 十日  | 本会議（一般質問）                     |
| 十一日 | 本会議（一般質問）                     |
| 十二日 | 議会運営委員会                       |
| 十五日 | 各常任委員会                        |
| 十八日 | 特別委員会                         |
|     | 議会運営委員会                       |
|     | 本会議（上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決）   |

る信用保証料補給金及び中小企業金融対策預託金の追加額を計上している。

観光費では、湯けむり展望台の建設費等を計上している。

土木費では、オリアナ桟橋を活用するため、耐久性等の調査を行う委託費を計上している。

消防費では、自主防災組織育成に要するため、防災訓練時に使用する音響装置を購入するための経費を計上している。

教育費では、市民や市内の団体のスポーツ振興補助金の追加額を計上している。

公債費では、公有林整備事業債について、低利率のものに借換えすることに伴う償還費を計上している。

国民健康保険事業特別会計では、国の医療制度改革に伴う高額医療費の大幅な伸びに対応するための追加額を計上している。

温泉事業特別会計では、旧浜田温泉の関係図面を資料として保存するため、調査設計委託費及びその敷地を駐車場として使用するため、解体費を計上している。

介護保険事業特別会計では、居宅サービスの増加で、事業運営の不足額の追加を計上している。

## 条例の全部改正

◎別府市個人情報保護条例の全部改正について  
(原案可決)

行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律の趣旨にのっとりた規定とすること等に伴う条例改正

◎別府市情報公開条例の全部改正について  
(原案可決)

行政機関の保有する情報の公開に関する法律の趣旨にのっとりた規定とすること等に伴う条例改正

## 条例の一部改正

◎別府市税条例の一部改正について  
(修正可決)

個人の市民税、固定資産税及び都市計画税に係る納期前の納付に係る奨励金の交付を段階的に廃止しようとするに伴う条例改正

◎別府市税納税貯蓄組合の奨励に関する条例の一部改正について  
(原案可決)

別府市税納税貯蓄組合に対し交付する市税完納奨励金の交付の率を改定しようとするに伴う条例改正

◎別府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について  
(原案可決)

缶、びん及びペットボトル専用の指定袋を導入し、これらの収集、運搬及び処分に関する手数料を定める

## 意見書

議員より意見書 8 件が提出され、5 件が可決されました。

可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

- ◇ 地方特定道路整備事業の制度の継続に関する意見書 (原案可決)
- ◇ 北朝鮮による拉致問題の早期解決を求める意見書 (原案可決)
- ◇ WTO 農業交渉に関する意見書 (原案可決)
- ◇ 年金制度の見直しに反対する意見書 (原案否決)
- ◇ 高校奨学金制度の抜本的な改善・拡充を求める意見書 (原案可決)
- ◇ 観光立国へ積極的な施策推進を求める意見書 (原案可決)
- ◇ イラクへの自衛隊派兵に反対する意見書 (原案否決)
- ◇ 国立病院の独立行政法人化にあたり、賃金職員・非常勤職員の雇用継続と医療・看護体制の拡充、院内保育所の継続を求める意見書 (原案否決)

ことに伴う条例改正

◎別府市下水道条例の一部改正について  
(原案可決)

公共下水道事業を引き続き安定的に運営し、健全な施設の維持管理を行うため、下水道施設使用料の額を改定しようとするに伴う条例改正

## その他

◎市長専決処分について (承認)  
衆議員選挙執行に伴う経費を、市長により専決処分したものです。

### 全国各市から

#### 行政視察に

平成十五年四月から十二月までに別府市議会を訪れた議員の視察研修は三十二市(三百十五名)で、このうち約七十四%の視察団が別府市で宿泊されました。

地域別では、関東地方八県、東海地方六県、東北地方五県となっています。

視察で多いのは、一般質問における一問一答制で、この視察により導入する市議会が全国的に増えつつあります。

### お願い

◎政治家が入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄附をすることは禁止されています。

◎政治家に、寄附を勧誘・要求することは禁止されています。

# 案 疑 議 質

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

十二月八日に十名の議員が行いましたが、そのうち、主な質疑内容を掲載します。

## 湯けむり展望台 について

**問** 湯けむり展望台建設にあたって八百万円の仕事費が計上されているが、その内容について説明願いたい。

**答** 工事費につきましては、道路舗装工事、フェンスの設置、展望台の表示板、道路案内標識等であります。

**問** 今回湯けむり展望台 建設経費が計上されているが、今後、別府市の展望台設置計画についてをお聞きたい。

**答** 「二十一世紀に残したい日本の風景」で全国二位に選ばれたことにより今回湯けむり展望台の設置をいたしますが、別府にはまだすばらしい景観が一望できるたくさん場所



別府観光の新名所となることが期待されている湯けむり展望台建設予定地。鉄輪地区はもとより扇山・鶴見岳の眺望が広がる。(大観山町)

がありますので、今後につきましてそのような場所に設置を図ってきたい。

**問** 湯けむり展望台周辺の道路整備や観光客に対する配慮はどのようになっているのか説明願いたい。

**答** 国の補助を受けて、交通安全施設等整備事業として道路整備を行いたい。県道(別府山香線)から大観山町(展望台)へ横断道路と循環出来るように計画をいたしております。また、この事業には道路拡幅のため、用地買収が必要であり、地権者の了解を得ながら工事着手して行きたい。安全面では、カーブミラーや歩道の設置、案内板の作成設置などで観光客に安心して十分楽しんでいただける施設になるように配慮していきます。

## 旧浜田温泉について

**問** 旧浜田温泉調査設計委託料四百七十九万三千円が計上されているが、どのように活用するのか説明願いたい。

**答** 今後の市営温泉等の建設時にこの図面を最大限活用していきたいと

考えている。

**問** 先に提出された中間報告書のなかで、一部書面が省かれた経緯について説明願いたい。

**答** 現浜田温泉が予算化する前であり、この中には建築単価等の記載があったため、省きました。

**問** 県の文化財の調査結果によると、後世に引き継ぐべき近代化遺産として、温泉の建築物としては浜田温泉と竹瓦が挙げられているということはお承知のとおりだと思いますが、旧浜田温泉は文化財としての扱いを受けてこなかった。今議会で解体費用が計上されているが、文化財として後世に残すべき近代化遺産という評価を当局もされるのか考えを聞きたい。

**答** 旧浜田温泉につきましては、評価委員会の中で御審議をいただき、その評価に基づいて今回、老朽化が著しいため修復保存ができないという判断をしたところです。報告書の特記事項の中で、復元する場合に備えて建築の詳細を明らかにした資料を残すべきである等、との特記事項をいただきました。当局としまして文化財としての評価は十分にしておりますのでこの図面を残し、将来この復元が図れるよう最大限の努力をいたしたい。

一般

一

問

質

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対応する方針などを質問するものです。

十二月九日から十一日までの三日間、二十三名の議員が市当局の見解をたえました。  
主な内容は次のとおりです。

答え 安全意識を高める必要があると思うが。

答 今年には事故件数・負傷者数ともに増加し、死亡者は十人。その内七人が歩行者で、六十五歳以上の高齢者が三人死亡。北浜交差点で観光客三人が死亡している。また高速道で

幼児の死亡事故など特殊な例もあり危機感を持っている。今後緊急に対応策を協議し安全対策を進めるとともに、年末年始の交通安全運動も強力に推進していく。

問 防犯・防災・悪徳商法・ヤミ金融などは巧妙な手口になっており、防犯や犯罪対策は避けて通れない。相談窓口強化や安心・安全マップ作成などの取り組みは。

答 市民を安心・安全にそして防犯・交通安全対策や相談窓口の一本化や啓発チラシの一元化実現など、最終目標は市民意識の高揚につなげていきたい。そして、万一の時の相談をどのようにするか、関係機関、警察や消防署とも協議して対応を進めていきたい。

楠港跡地の具体的

活用方法について

問 楠港跡地へ進出を希望する企業は四社となっているようだが、多くの企業が進出を希望することは喜ばしいことだが、期間を区切って公募してはどうか。

答 跡地は中心市街地の活性化にとって重要な位置を占めております。よりよい開発をしていくには出来るだけ多くの企業から進出計画を募集する必要があると思っておりますので、ご提言の趣旨につきましては、そのような方向で検討したいと思っております。

問 公募した後については、選定委員会を設置しガラス張りの中で市にとって一番適切な企業を選ぶべきだと思いが、検討委員会を設置するつもりはあるのか。

答 仮に公募することになりますと、さらに進出を希望する企業が増えることが予測されますので、各階各層を代表されます方々で構成される選定委員会の設置は必要ではないかと考えております。

問 いずれにしても、楠港跡地については工事終了から十一年が経過している。出来るだけ早い企業誘致を進めてもらいたい。

安心・安全の

街づくり

問 交通安全対策は重要な社会問題。交通事故は増加傾向であり市民や観光客にとっても安心安全な街とはいえない。市としても非常事態宣言と



観光客の横断事故が多発している  
国道10号線北浜交差点

## 「浜田温泉」について

について

**問** 旧浜田温泉は解体し設計図を残す。という市長の決断材料となった歴史的建造物の保全等に関する委員会の答申は、前市長の継続路線でありなぜ修復保全できなかったのか。

**答** (市長) 就任時には新温泉も建設され、いろんな人たちの意見も聞き、答申を尊重する中で判断した。今後、亀川地区や現在地も視野に入れないながら機会がくれば復元いたしたい。

**問** 答申の委員会は本来市民請願の浜田温泉を国の登録文化財にするための調査を実施する機会であるべきなのに、温泉課が文化財を外した歴史的建造物として欠点評価をし、国や県から近代化遺産として文化財としてリストアップされていることにも反するのではないか。本来、文化に関する行政は教育委員会が管理執行するべきではないか。

**答** 教育委員会としては一応検討したが、先に歴史的建造物の保全等に関する委員会ができましたので、教育委員会としては対応出来る状況にありませんでした。

## 湯布院町との合併

を提案する

**問** 特例法で平成十七年度末までに合併を実現すれば、地方交付税や助成費等に恩典がある。別府市は現在のまま推移すれば平成二十二年には財政破綻を来すおそれがあるため、財政再生を緊急に行う必要があるとの認識を示している。この事態を救うのは同じ温泉都市でもある湯布院町との合併を推進すべきである。今回の合併劇には間に合わなくても、第二次、第三次の合併が必要になる、その時のために別府市の体質改善を図る必要がある。滞納税の整理、談合の工事請負を無くす等の是正すべき点は改正する。

**答** また新しい魅力ある別府観光づくりのため、十文字原のテレビ塔の下にある二十五万坪の市有地に、全国各地で自生している薬草や薬木を集めて温泉の中に入れる温浴療法や、漢方薬にしてお土産として売り出すとか、泥湯・砂湯など別府八湯を集めて観光客に喜んでもらったらどうか。

**問** 十一月に実施した防災図上訓練の概要について説明して下さい。

## 防災訓練のあり方についての一提言

**問** 十一月に実施した防災図上訓練の概要について説明して下さい。



昨年11月に行われた別府市地震対策図上訓練

**答** 今回の図上訓練の狙いは、市災害対策本部長である市長をはじめ各対策部長以下のスタッフが、七月の庁内人事異動で大幅に交代したため習熟してもらうことにありました。

**問** この種の図上訓練で大切な訓練内容は、刻々に変化する被災状況の情報報をいかに迅速正確に把握し、その対処策を被災現場に適時適切に指示命令するかにある。「状況把握」「状況判断」「命令指示」と連鎖する思考過程を、連続して訓練するのが「指揮所訓練」である。七月、別府自衛隊で実施された「防災指揮所訓練」は自治体及び民間の防災機関が参加して実施された画期的な訓練であ

あった。この訓練をモデルにして市の防災訓練を企画していただきたい。

**答** この訓練には、市の防災関係者も参加して大変参考になった。自衛隊の指導を得て、市でも取り入れていきたい。

## 南立石マンション

### 火災事故報告書について

**問** 今回の報告書は事故後一年の時間をかけたものにしてはお粗末である。まず、今回の消火・救助活動においてはほとんどの場合が隊として機能していないにも関わらず隊毎に活動を報告する形態をとっているがこの事に何の意味があるのだろうか。又、時間をかけた割に文章の吟味不足の箇所が目立つし、報告書内で矛盾をおこす記述があるのは問題だ。そして最も大きな問題点は、今回の事故の視点として「子供がいるかもしれない」という情報について「不良呼吸器の問題について」は重要な報告課題であったはずであるが、それらを正面から見据えて検証された報告がされていないのは不思議な感じがする。ともあれ、この事故を契機に消防を取り巻く環境の整備を促進させ、危険ではあるが市民の生命と財産を守るために活動する消

防職員のヤル気を促す報告書を期待していたのだが、その気配さえ感じられない報告書に失望させられた。

## 消防職員の命を守る 装備の充実を

**問** 消防職員の死亡事故についての最終報告書が出ましたが、それを読んでもなお、装備が充実していただければ草牧隊員を救助できたのではないかという感を強くしています。室内では草牧隊員の呼吸器の警報ベルが鳴り草牧隊員がパニックに陥っているのに、外部の指揮者は現場の情報がつかめないという状況があった。また草牧隊員が浴室の窓から二度も顔を出し助けを求めているのに、三階まで届く三連はしごがないため救助できなかった事実がある。こうした命に関わる装備は万全を期すべきではないか。

**答** たしかに昨年十二月議会では「外部と連絡できる呼吸器は市販されていない」と答弁しましたが、その後の調査では販売されていることがわかりましたので、来年度予算で装備できるように財政当局と協議中です。

## 観光と環境整備に ついて



車の通行量も多い鉄輪いでゆ坂（永福寺付近）

**問** 別府市は観光立市として別府八湯を中心に観光客の誘致に努めている。しかし別府八湯の今後の中心を担うべき鉄輪地区のメインストリートみゆき坂・いでゆ坂を見ると、観光客の皆さんの別府観光に対してのイメージを悪くするものではないのか。早急に景観と安全に配慮した改修を行うべきである。

**答** 地元からの強い要望もあり、鉄輪地区は別府八湯の中でも観光の中心であるので、観光客と地元住民の

ニーズに合う安全と景観に十分配慮した両坂の改修を早期に行う準備をしている。駅山手側、青山通り、北浜の道路改修整備も終わり「次は鉄輪」という気持ちもある中で、地元期成会の意思、方向性を見守りながら出来るだけ早期に着手したい。

## 観光行政や住宅特区 の指定を問う

**問** 低迷する別府観光を何とかしたいと思うがなかなか名案が浮かばない。別府はなんと言っても温泉を抜いて語れない。①温泉を生かした施設②温泉と医療の連結③海や海岸を生かす④山や高原を生かす⑤名所、旧跡、神社仏閣を生かす⑥イベントを盛り上げる⑦新施設の開拓など各項目について指摘したが、第三の目玉施設が欲しいと研究を促した。

別府市が県と共に公営住宅を留学生に貸与できることを決める住宅特区を申請し許可が得られたというが、低迷する不況の中、市民の多くが低廉な市営住宅に入居希望する方が多い訳だから、市民を圧迫しないように運営して欲しい。

**答** 亀川住宅のコンクリート造りの団地の四階部分の二十戸を想定しております。

**問** 行政改革について、大分市もア

クシヨンプランを策定したみたいだが別府市はどうか。

**答** 行革推進審議会の答申が十二月末になされ、十五年度末までには推進計画を策定したい。

## 事務事業の見直し の基本的理念

**問** 行革で一番重要なことは事務事業の見直しである。それは最小のコストで最大の効果を上げ市民サービスを向上させるとしているが、本当に市民サービスが低下しないのか危惧している。今後職員数は減っていくものと思うが事務量はIT化が進んでもそんなに減るものではない。事務量が減らず職員数は減ってくる。その減少した職員で現在の市民サービスを維持するまたは向上させることが本当にできるのか。残った職員に事務量を押しつけることになるのではないか。そこで民間委託が出てくるが、企業は当然収益性を目的としているので市の行っているサービスの質が提供できるのか、市内業者に本当にいののか不安材料はある。民間委託によりその業者が市の能力に負けない能力を持っているかどうかを十分に調査を行う必要がある。そして一番重要なことは一つ一つの事務事業について、民間委託するべ

き事業なのか、市が直営で行う必要がある事業なのかを十分に論議し行政の中で民活と直営を判断された。

## シルバーハウジングについて

**問** 介護保険給付の急激な伸びへの市の対策は。

**答** 高齢者ができるだけ長い期間介護を受けずに暮らせるように、介護予防の推進、高齢者の健康維持・増進に取り組む。

**問** 介護予防事業として、安否確認等の生活支援がついた住宅を提供するシルバーハウジングプロジェクトを策定したが、建設の具体化は。

**答** 平成十四年度に今後の市営住宅の建て替えの指針を策定した。市営住宅団地の建て替えの際はシルバーハウジング住宅を建設する。

**問** バリアフリー、生活援助員による支援、緊急通報システム、火災やガス漏れの警報機がついた市営住宅で、高齢者は安心して自立した生活ができる。大分市は二十戸、日田市は二十二戸、中津市は四戸がすでに建設されている。別府市の高齢化率はこの三市よりも高い。企業の空き家になっている保養所等も活用する

など国の政策を先取りしてシルバーハウジングプロジェクトの実施を要求する。

## 市営住宅の入居条件の緩和について

**問** 現在の市営住宅の入居条件は、

申し込みの時点で住民票の発行手数料三百円、所得証明書三百円、完納証明書は無料だが、それでも六百円という費用がかかる。そのほか戸籍謄本が必要な方はさらにお金がかかる。それでなくてもこの不況で少しでも出費を抑えている。最近の申し込み状況を見ても、別府市では浜脇高層住宅建設以来住宅状況も一変し、申込者数も大変な数になっている。

昨年一年間を見ても延べ人員で千二百二十五名の方が申し込みをされている。その内当選者は八十一名、それ以外の方は住民票等の手数料は全て無駄になっている。市民の方からどうにかならないかとの苦情も聞いている。そこで当選者だけに住民票等の書類を提出していただく「事後審査方式」を導入してはどうか。

**答** 受付窓口での聞き取りを十分に行うことはもちろんですが、市外からの申し込みにはどう対処すべきか等様々な検討事項があるので、す

に「事後審査方式」を導入している他都市の状況を早急に調査いたします。



市営住宅の受付を行っている建築住宅課窓口

## 職員のマナーについて

**問** 一部の市職員の中に、市民（来客者）に対する「挨拶」をしない、応対がぶっきらぼうなどと職員の接遇マナーが十分にできていない。観光都市である別府市だからこそ職員が率先して笑顔でお客様や市民の皆様に接する姿勢が必要である。職員

全職員が自覚し市民サービス向上に努めるべきだと思うが。

**答** 接遇、特に挨拶は観光都市でもある別府市職員としては最も大切な基本の一つであります。市長も「市民の目線にたった市政運営」と言っており、市民とのファースト・コンタクトとして、相互理解のためにも大きな意味があると考えております。そのため、平成十二年には職員で組織するマナーアップ委員会、挨拶、勤務時での対応も含めて「あるべきモラル像」を描いた「接遇読本」を職員自らの手で作り上げ、研修に使っております。

## 市職員の労働安全衛生について

**問** 別府市職員の労働安全衛生の体制と取り組みはどのようなになっているのかお聞きしたい。

**答** 現在の別府市の体制については、労働安全衛生法並びに別府市労働安全規則に基づき、労働安全衛生体制をそれぞれの職場（市長部局・教育委員会・消防・水道）で設置しており、特に清掃課においては独自に清掃業務安全衛生委員会を設置しています。最近では職員数の減少により一人の職員が長期療養を行った場合、他の職員に負担がかかるため、その

ような事態にならないように努力している。また、社会問題となっているメンタルヘルスの問題であります。この問題については長期間の治療を必要とし、カウンセリング等についても体の病気に以上配慮が必要であり、職場においては管理職が鍵を握るとも言われております。職場の連携等を密にし早期発見に努めていきたい。また、現在産業医は内科医のみとなっているので、専門医の配置についても検討いたしたい。

## 葬儀の礼状を 公務員の手で

**問** 市長の個人的な仕事を公務中に職員が手伝ったという投書が寄せられましたが、何を手伝ったのか説明して欲しい。

**答** (市長) 大変申しわけありません。実は私の母が亡くなりました葬儀の礼状です。職員の暖かい気持ちで手分けして加勢してあげると言っていた。本当は公人としてきちっと断るべきだったと反省をいたしております。しかし甘えてしまった私のミスでございます。

**問** 大変残念に思っているのは、前市長が職員から政治献金をもらったときに、そのことをみんな批判したのです。浜田市長は市民の目線で政

治と訴えました。そのことからしても職員に宛名書きをさせてはならないことです。家族の問題については家族で全部処理するのが当然です。今後二度とそういうことがあってはならないし、市長自身今回のことを教訓として戒めていただきたい。

## 別府アジア絵画展 を通じ文化の交流



ビーコンプラザ・エントランスホールで行われた絵画展の様

**問** 二〇〇三年別府アジア絵画展にはアジアを中心に世界二十四カ国、国内とあわせ千四百十七点の出品があり、この絵画展で通訳を担当した

市民は、アジア各国の出展者と電子メールを通じて交流を続けており送受信数は千八百件を超え文化交流が人的な交流につながったとの新聞報道がありました。その市民はメール

を通して、別府から世界に文化の発信ができる絵画展を、アジアの多くの友が希望していると言っています。が、今後の行政の取り組みは。

**答** 別府アジア絵画展は、それまで八年間続けた現代絵画展を充実発展させ、二年に一回のビエンナーレ方式で二〇〇三年三月に開催したところ大変な反響で、国際理解と友情を深めることができ、別府市が世界で注目を集めることとなりました。次回二〇〇五年に開催する準備を進めています。今後もインターネットに募集要項を載せることにより世界のどこからでも応募できます。学術文化交流や国際交流を通し民間交流も図り世界へ文化の発信に努めて参りたい。

## 中央公民館の 運営について

**問** 中央公民館の大ホールの使用に関する対応について、利用者の方々から多くの苦情が寄せられている。その対策と今後の管理体制の見直しは。

**答** 舞台操作を業者に委託しているなかで、不適切な点が全くなかったかは断言できません。これらの問題を解決するために市民から苦情の無いように事務改善に努めます。

また、公民館は市民文化の向上と社会福祉増進を目的とする基本に立ち返り、利用者の立場を尊重したよりよい公民館活動のため努力して参りたいと思っております。

## 春木川小学校の 存続のためには

**問** 春木川小学校は平成二十一年度には全校生徒二百人程度、全学年で七クラスにまで激減する。現在市教委では通学区等の見直しをしているが、小学校東側にあるし尿処理場春木苑は老朽化が進み建て替えか移転の話があると聞く。この際春木苑の広い敷地の一部等を使って若者夫婦が入りやすい市営住宅等の建設は出来ないだろうか。西校区真光寺住宅は建て替え後小学生以下が十六人も増加しているではないか。

**答** 春木川小学校は五年後二百人程度の規模になると予測されているため、現在通学区の変更等も視野に入れて検討しているところである。し尿処理場春木苑は老朽化しており規模を小さくして建て替えるべきと考えております。市営住宅の建設については現時点では建設のための全ての条件が明らかになっていないので、今後具体的に建設可能な用地等が提示されれば関係課(財政・企画調整

課)等と十分協議する中で検討させていただきます。

## 交通バリアフリー

### 基本構想について

**問** 交通バリアフリー法は、公共交通機関を利用する高齢者・身体障害者の移動の利便・安全性向上を目的に二〇〇〇年十一月に施行。この法律に基づき別府市は基本構想を策定し、構想に従って徒歩で移動可能な公共施設までの道路の段差をなくし、信号も障害者や高齢者に適した調整をして活動しやすい環境づくりが進められる。バリアフリー基本構想の今後の取り組み状況はどうなっているのか。

**答** 特定旅客施設を中心とした重点整備地区として、一日あたり平均利用者五千人以上の施設、または高齢者、身障者の利用が多い施設を対象に別府駅周辺・亀川駅周辺が該当する。平成十六年中に基本構想を策定できるように準備しています。

**問** フラインディスクの同好会もでき多くの障害者の方がスポーツに親しんでいるが、用具が少ない。購入する予定はないのか。

**答** 障害者スポーツの振興ということからも必要であり、来年度の購入に向けて協議していきたいと考えています。

## 児童クラブの拡充

### と待遇改善を

**問** 児童クラブを全校区に設置し、指導員の待遇改善を。親まかせでなく、補助金の増額など市がもっと責任を持つべき。位置づけはどうか。

**答** 来年度青山・北幼稚園で開所を計画しており、東山を除く全校区、十五校区に十七クラブの設置となる。今後にも必要などところには設置していきたい。指導員の位置づけは非常に大事だと考えている。各クラブの設置者との間で納得のいく雇用関係をお願いしたい。

**問** 県が少人数学級の方角を打ち出したのは、運動の成果で喜ばしい。しかし二十人を下限と言うことになれば三十五人以上のクラスを押すこととなり問題がある。不公平感がないよう県に働きかけをすべき。

**答** 県教育委員会にお願いする。

**問** 三十五の介護予防・生活支援事業のうち、他市町村が実施しており別府がしていない事業が二十二あるが、実施をして高齢者の健康増進を図るべき。

**答** 今後、事業の見直し等を行いたいがらニーズにあった事業を行いたい。

## 児童手当の拡充に

### ついて

**問** 十一月、政府与党の合意によって、児童手当の拡充が実現。従来小学校教育前までが支給対象であったが、今回小学校三年生修了まで引き上げられることとなった。今後の対応をお尋ねしたい。

**答** 国・県より決定通知は受けていないが、予定通り実施されれば支給対象者が五千八百六十五人から九千四人に拡大される見込みである。支給月額第一子、第二子がそれぞれ五千円。第三子以降は一万円となる。支給月は六月、十月、二月の年三回、四ヶ月分がまとめて口座振り込みされる。ただし申請をしていないと給付が受けられない。保育所・幼稚園や学校を通して、保護者への連絡を徹底する。受付は各出張所でもできるようにしている。

**問** 申し込み忘れてもらえなかったなどという人がでないように、お知らせをやってもらいたい。せっかくのよい制度なので対象児童のいる家庭にはもれなく受け取れるようにして欲しい。

## 新別府球場及び

### 実相寺球場について

**問** 新球場建設が遅れているが、平成十九年には天皇杯大会の誘致も決まっている。また現在、高校球児の公式戦も別府で開かれていない状況

である。早期の建設を要望する。  
**答** 十九年度の天皇杯軟式野球全国大会に間に合うよう、県にも協力要請したい。

**問** 全国還暦野球大会が平成十七年度に開催されることが決まっているが、新別府球場建設が遅れているため、実相寺球場の早期改修を要望する。

**答** 軟式野球連盟を始め野球関係者等と協議しながら、十七年十月開催予定の全国還暦野球大会に間に合うように、本部席、倉庫、ダッグアウト、観客席、バックネット、セーフティパッドを含むフェンス、得点板、バックスクリーン等の改修をしていきたい。

**問** 本部席やダッグアウト等の整備も大切なことと思うが、選手がプレーするグラウンド整備も重要なことと考える。より良いものを作るよう十分協議しながら進めて欲しい。



改修が予定されている実相寺球場

## べっぷ子ども市議会

が平成15年12月25日に開催されました。

## 子ども市議会について

## 子ども議会の趣旨

各小学校の代表者が議員となって、自分たちの住んでいる別府の諸問題、未来について、自ら考え、模擬市議会を体験することにより、市議会の重要性和故郷べっぷを愛することの大切さを学んでいただくとともに、別府市としても「子ども達から出された真摯な提案や課題などを今後の市政運営のために活用するために行うものです。

## 子ども議会の参加者

- ◎ 子ども議員 各校区より小学校高学年2名（16校区×2名＝32名）
- ◎ 執行部 市長・助役・収入役・教育長・水道局長ほか各部長
- ◎ その他 議長・副議長ほか主催者・関係者

## 子ども議会の内容

- ◎ 子ども議員より正副議長を選び議事を運営します。
- ◎ 子ども議員が市執行部（市長ほか）に質問し、答弁を求めます。（一般質問）
- ◎ 子ども議員が市に対して意見・提言を行います。
- ◎ 子ども宣言を採択します。

## 「未来に輝くべっぷっ子」子ども宣言

別府に住むわたしたちは、第1回「べっぷ子ども市議会」を機会に、別府について考えました。夢と希望に満ちた未来を願い、みんなやさしい心をひとつにして「豊かな自然と湯けむりを誇りとし、思いやりで満ちあふれたまちづくり」のために、ここに次のことを誓います。

1. あいさつのできる明るい子どもになります。
2. みんなから愛される美しいまち「べっぷ」になるように、自分たちのできることから始めます。
3. みんなで力をあわせて、世界一の温泉を、大切に守っていきます。

以上宣言いたします。

平成15年12月25日

べっぷ子ども市議会

## 第1回「子ども市議会」提言

1. 自然災害(鶴見岳の噴火等)に備えて、別府市の安全体制と各家庭への避難体制を万全に整えて欲しい。
2. トキハ横の使われてない温泉等を足湯等に転用してはどうか。
3. 別府湾(海)や朝見川(川)にゴミを捨てないでほしい。
4. 市内のいろいろな場所に、足湯を作り、お客さんに楽しんでもらいたい。また、路面電車を復活して、観光の目玉にして欲しい。
5. 亀川の町は、体の不自由な人も多い。このような人に優しいまちづくりを、進めて欲しい。
6. 車イスの子どもに、エレベーターを設置して欲しい。
7. 学校の施設に不十分を感じるものがある。(トイレの数・場所等)充実したものにして欲しい。
8. より使いやすく、魅力ある別府公園にするために。
9. 未来の別府市について(自然との共生)
10. 上人ヶ浜をきれいにするには。
11. 夜明るい、安全なまちづくりを目指して、街灯を増やして欲しい。又、側溝のふたの整備もお願いしたい。
12. 観光客がたくさん来なくなるようなまちづくりをして欲しい。

\* 子ども市議会の会議録を別府市議会ホームページに掲載しております。「一般質問」でのやりとりなどはそちらでご覧ください。(http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/)

第1回

# べっぷ子ども市議会 スナツプ集



答弁を聴く子ども議員たち



清成議長より委嘱状を交付



いつもとは違った表情の執行部席

## 一般質問をした16人の子ども議員



三城準太議員



松本裕介議員



川野真央議員



秋吉拓郎議員



新久保友美議員



光吉彩花議員



秋吉諒二議員



渡邊麗奈議員



岩屋大志郎議員



甲斐圭太郎議員



山崎大貴議員



神崎祥平議員



相原雅士議員



吉野内裕議員



永井利英議員



山田悠貴議員

## 議長席



佐脇 開議長



岡田真希徳副議長



わかりやすく答弁する浜田市長

## 提言をした12人の子ども議員



川端秀和議員



安部美希議員



大野智央議員



佐古友也議員



野間口友紀子議員



板倉夕夏議員



麻生晃世議員



大久保宙議員



塩崎真琴議員



小西珠美議員



藤井 礼議員



利光彩菜議員



「子ども宣言」を読み上げる池尻玲議員



最後に謝辞を述べる藤原恵里議員